

令和5年度 第4回 青森支部評議会の概要報告（速報）

開催日時	令和6年1月16日（火）10：00～12：00
開催場所	全国健康保険協会青森支部会議室
出席評議員	秋田谷評議員、大坂評議員、木村評議員、今評議員、神評議員、藤沼評議員、前多評議員、吉田評議員（五十音順）
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和6年度青森支部保険料率について 2. 令和6年度青森支部事業計画（案）について 3. 令和6年度青森支部保険者機能強化予算（案）について
議事概要 （主な意見等）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>議題1について、事務局より資料に基づき説明。</p> </div> <p>●令和6年度青森支部保険料率について</p> <p>【被保険者代表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入状況にある国庫補助の前期財政調整について教えていただきたい。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期財政調整は、65歳から74歳の方を対象とした、被用者保険、国民健康保険間の医療費負担を調整するための制度である。これまでは各保険者の65歳から74歳の加入者数に応じ計算されていたものが、被用者保険に一部総報酬割が導入された。健康保険組合や共済組合の加入者は賃金水準が高いため、平均標準報酬が高い、それに比べ協会けんぽでは賃金水準の低い加入者が多いことで、納付金の引き下げにつながった。国民健康保険は支援を受ける側のため影響はない。 <p>【事業主代表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支出の状況の「その他」のうち、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に対する対応のための経費はどのくらいか。マイナンバーカードとの一体化は国が進めているだけであり、昨今のトラブルの中で意味があるのか。協会けんぽとして経費が掛かるのであれば、一体化する方向を拒否することで経費を下げることはできるのではないか。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードと健康保険証の一体化に関する経費については、国の方針を踏まえて引き続き本部では精査をする必要があると考えている。令和5年度が34億円、令和6年度は229億円を予定しているが、広報及びシステム改修経費については国からの補助が受けられる見込みになっている。国の政策に沿った形で協会けんぽとしては協力をしていくということとなる。これからの医療保険制度全体の医療DXにも寄与するという一方で、不安の払拭を前提とし、事業主、加入者にご理解いただき

ながらしっかりと取り組んでいきたい。

【事業主代表】

・青森支部の保険料率の対前年度比について、令和5年度は対前年度比-0.24%であったがこれは大きい引き下げと考えているか。対前年度比がプラスの年度を見ると過去には+0.49%の時もあった。協会けんぽとしてこの下げ幅についてどのような感覚をもっているのか。

(事務局)

・令和6年度の保険料率についてそのまま決定すると、対前年度比-0.3%ということで過去最大の下げ幅となり、大きい引き下げとの認識である。

【学識経験者】

・介護保険料率について、昨年度の評議会でも申し上げたが、医療保険のように平均保険料率という考え方はないのか。あくまでも単年度収支均衡ということか。介護保険給付費自体が上がっていく傾向にある中で、介護保険料率について毎年度のように上がり下がりを繰り返すよりは、ある一定の保険料率で推移していく方が良いと考えるので引き続きそのような意見があることを伝えていただきたい。

(事務局)

・昨年度のご意見については、本部へ支部評議会での意見として提出している。しかしながら、介護保険については制度上、単年度収支均衡での決定という仕組みとなっている。

【議長】

・来年度の支部保険料率は0.3%引き下がるが、収入としての前々年度の精算分0.25%による影響が大きい。しかしながらこれは、過去に負担したものが精算されるということで一時的なものである。前々年度の精算分で0.25%が生じた理由について説明いただいたが再度確認したい。

(事務局)

令和4年度の保険料率は、新型コロナウイルスの影響による受診抑制があり医療費が大きく減少した令和2年度の医療費を足元に計算され、青森支部においては10.03%であった。結果としては、全国に比べて受診抑制、またその後の医療費の伸びが少なかったことで令和4年度の支出としての医療費が青森支部としては見込みよりも抑えられた結果である。

【議長】

・令和6年度の青森支部保険料率は引き下がることになるが、そこには前々年度の精算分の0.25%が大きく関係している。それを踏まえると今後の青森支部の医療費の上昇を抑制し保険料率の伸びを抑えるためにインセンティブ制度の評価項目である保健事業にしっかりと取り組み、加入者の行動変容を促しその結果を保険料率に反映させていくことが重要である。そのために加入者、事業主の取り組みで保険料率が下がるということを周知認知していただき、更なる行動変容を促すために広報に注力いただきたい。以上を評議会の意見としてよろしいか。

(出席評議員の了承を得る)

議題2について、事務局より資料に基づき説明。

●令和6年度青森支部事業計画(案)について

【学識経験者】

・保健事業のKPIについて、これまでの実績も踏まえつつ計上していることと思う。協会全体のKPIよりも高い項目については、本部から指摘を受けることはないと思うが、被扶養者の特定保健指導だけが協会全体で18.1%以上というのに対し13.7%と低くなっている。本部へ提出した際に指摘を受ける懸念はないのか。

(事務局)

・全国の支部の実施率を踏まえたうえで本部より示された範囲内で決めたものであるため問題はないと考える。

【学識経験者】

・事業計画の中に、丁寧な広報とか丁寧な説明をしていくというところが多数見られた。また今回広報基本方針に基づき、支部広報計画を策定し実施するというので、広報に力を入れていくというところは理解した。具体的に支部広報計画を策定し実施するにあたりスケジュール感について確認したい。令和6年度中に支部広報計画を策定するのみか、それとも実施するまでの単年度の計画か。

(事務局)

・支部広報計画については、現在本部に提出済みであり確認作業中である。令和6年度は、商工3団体の皆様と連携しながら効果的に広報していくという視点で計画策定したところ。支部広報計画については、協会本部の確認後、お示しさせていただく。

【議長】

・地域の課題を解決していく時に、多様な利害関係者で協働する場合、重要なポイントとして、計画と実行が分離していると、実行段階で共通目的が他人事になってしまう。計画段階から関わり多様な利害関係者がコミットしていることが当事者意識を生じさせて効果的になる。計画段階に他の団体の意見を反映させることはどの程度可能か。

(事務局)

・ご意見のとおり計画段階から多様な利害関係者が関わるのが重要と考える。しかしながら経済団体の皆様にはこれまで、保険料率の広報にご協力いただいていたことから、他の広報においても連携が可能という前提で今回は当方で計画を立てさせていただいた。2月に訪問を予定しているので、今後の協力についてもお願いしながら計画を進めてまいりたい。

【事業主代表】

・データ分析に基づく事業実施について、本部主催の統計分析研修等へ出席するとあるが、これまで出席してこなかったのか。

(事務局)

・支部における分析スキルの維持、向上を並行して行うため、研修等には積極的に参加していきたいが分析担当者の異動や他の業務との調整がつかず見送るケースもあった。次年度は、事務の効率化を図りながら本部研修への積極的な参加を通じ、分析担当者の育成、分析スキルの底上げを図っていききたい。

【議長】

評議会として、令和6年度事業計画（案）について承認するということでよろしいか。

(出席議員の承認を得る)

議題3について、事務局より資料に基づき説明。

●令和6年度青森支部保険者機能強化予算（案）について

【事業主】

・事業者健診から生活習慣病予防健診への切り替え案内リーフレットについて、どのくらい作成するのか教えてもらいたい。

(事務局)

・A3見開きのリーフレットを1万部作成することとしている。

【学識経験者】

・継続事業の中で大きく予算の増減があったものはあるのか。

(事務局)

・Web広告等を活用した医療費分析結果等の周知になる。今年度、「青森県長寿のびしろ日本一」ということでWeb広告を活用した広報を実施しているが、来年度はテレビCM等も合わせることを考えており今年度の予算3,201千円に対して6,600千円と倍増となっている。

【学識経験者】

・資料に関して、継続事業であれば令和6年度の予算の隣に令和5年度の予算を記載いただけると、わかりやすいため次回作成時に検討いただきたい。

(事務局)

・ご意見のとおり承知した。

【議長】

- ・令和6年度青森支部保険者機能強化予算（案）について承認するということによろしいか。
（出席評議員の了承を得る）

以上

特 記 事 項

- ・傍聴者 デーリー東北新聞社 東奥日報社
- ・次回は令和6年7月に開催予定